



第15回(2007年2月7日)

定率減税廃止 サラリーマンの給与はどうなる？

(落合 幸裕=税理士)

1999年に導入された定率減税が廃止となった。減税の廃止、すなわち増税である。会社員の場合、すでに今年1月の給与から措置がスタートしている。ただし、増税を実感している人はどれほどいるだろう？ 定率減税廃止を含む税制の変更によってどんな変化が起こるのか、税理士の落合幸裕氏に解説してもらった。

2007年1月、毎月の収支額は二つとも一括して「税理士による計算」

2006年1月	2007年1月
給料	—
扶養控除	—
住民税	—
所得税	—
合計	—

2006年1月	2007年1月
給料	—
扶養控除	—
住民税	—
所得税	—
合計	—

[拡大写真]

7.5%相当(上限2万円)に減った。そしてこの2007年には全廃。「事実上の増税」となる。

一般的な会社員の給与には、いつからどんな変化が起こるのだろうか。気がついていない人もかなりいるようだが、今年1月に支給された給与には変化がすでに表れている。給与明細の「所得税」の項目をチェックしてみよう。年収が300～500万円程度の人であれば、所得税の負担額が、これまでより数千円ほど「減って」いたはずだ。

多くの人はここで「？」を感じたに違いない。そう、定率減税が廃止となったにもかかわらず、所得税の負担が「減って」いるのだ。

この不思議な現象は、定率減税廃止とは別の理由によって生じてい



バックナンバー

- ・番号継続制度は大山地図監査一匹か？
- ・番号継続で変わる！ ブランド戦略が死ぬ制
- ・増えた「いじめ自殺」解決は子ども主体で
- ・米中間選挙、保護主義が台頭する懸念は消せない
- ・半端龍一氏に聞く：米民主党勝利とイラク・北朝鮮問題
- ・競合システムは直に崩壊する、次は発注者の両体を考えよ
- ・Wi-Fi PS3で「ゲーム機戦争」は終わる
- ・2007年度税制改正、企業に甘く、個人に辛い
- ・防衛省へ昇格、「奉守防衛」への監視を怠るな
- ・2007年展望：需要が旺盛な薄型テレビとケータイ、Vista登場でも盛り上がりならないPC
- ・2007年展望：経済・官僚社会主義ニッポンの行方は崩壊のか？
- ・2007年展望：ビジネス・財部誠一：米国だけでなく世界経済を見よ
- ・2007年展望：技術・電子ペーパーの看板、ロボットスーツ、ナノテクノロジーが登場へ
- ・ついにVista登場！ 市場へのインパクトやいかに？

トピックス

- ・いじめ相談電話「なみ言おう」
- ・踏切事故：誰も通報装置押さず
- ・結食でノロ感覚：市が通知無視
- ・イラクで大規模爆撃作戦開始

- ・J・I清水、戸田重傷で強硬姿勢
- ・K-1育成に元プロ野球選手
- ・木村カエラとSU 文部認める
　　バックナンバー トピックス一覧

この記事に関する知恵袋の情報を見る

- ・定率減税
- ・所得税(給与所得)についてお聞きします。
- ・地方への税源移譲で19年からの住宅ローン控除は？
- ・税制改正の不公平についてどう思われますか？
- ・来年の税制改正

一覧を見る

三井一郎改革が生んだ“幻想”5月までは“所得税減税”

2007年は定率減税制度が廃止となる。その分、働く者の所得税負担は増える…。だが、ここで少し奇妙なことが起こる。今年1月から5月まで、所得税の負担が減るのである。[詳細]

森永卓郎：地方税、大半のサラリーマンに倍増

今年、廃止された定率減税についてはメディアでも大きく取り上げられた。だが、実はもう一つの大きな税制改革についてはほとんど語がれていない。[詳細]

森永卓郎：増税など必要ないことをひた隠す小泉政権

私は自民党税制調査会(税調)が最初に改正案を発表したとき、「まんまとやられた！」と思った。[詳細]

森永卓郎：もはや消費税率引き上げる必要はなくなった

財務省によれば、今年度の収税見積もりは細額で50兆円。当初よりも4兆円の増額となる。その理由として、豪気回復によって法人税収が好調となっていることが挙げられる。[詳細]

今年も議論始まる環境税

環境税が世間を騒わしている。これは石油などの化石燃料の使用を抑えるために政府が課す新税で、環境対策の1つ。ただし議論百出中で、導入は難しそうだ。[詳細]